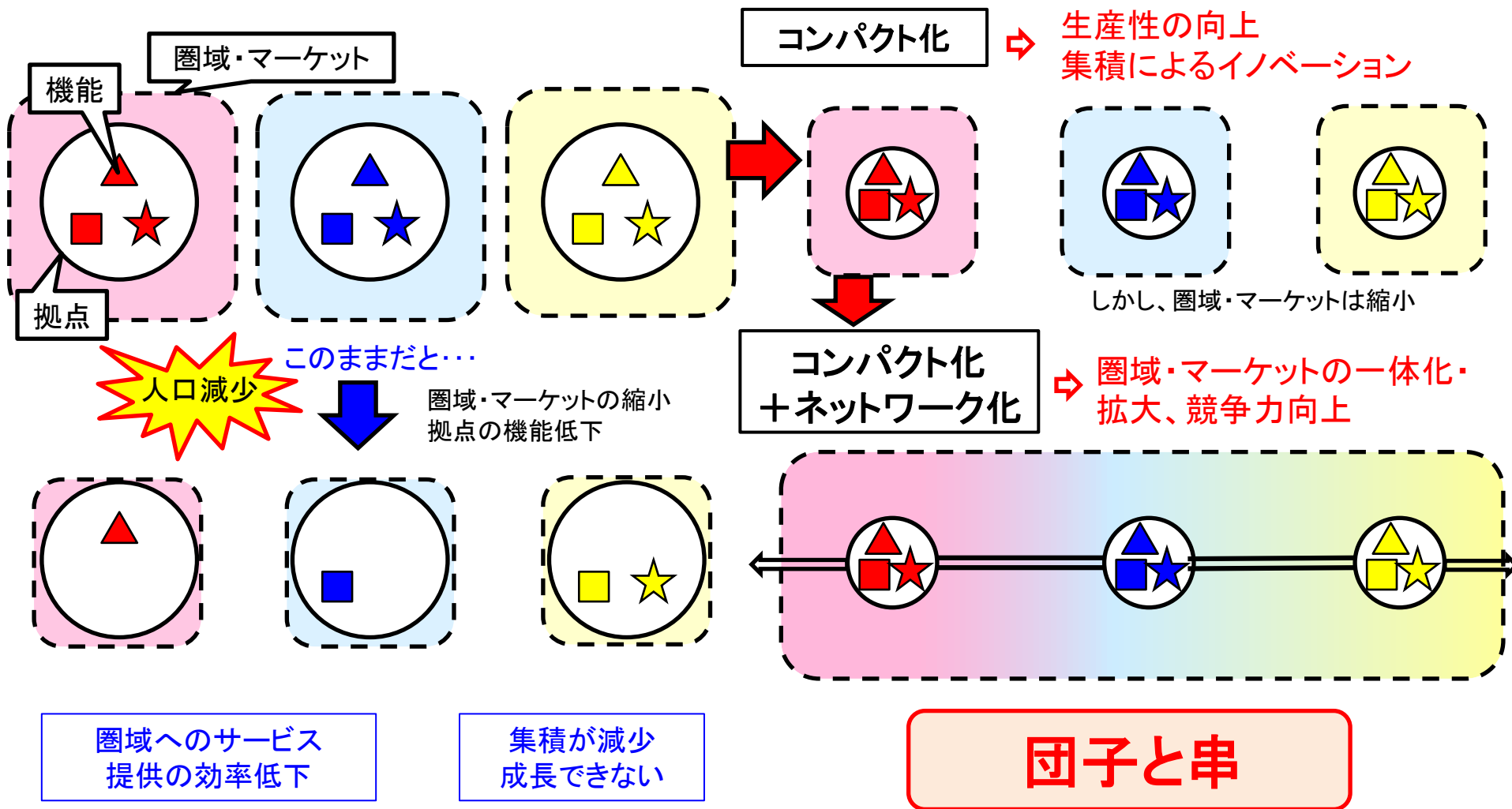


コンパクトな拠点とネットワーク化

- 人・モノが集う「場」の機能、サービス提供機能等が集積したコンパクトな拠点を形成し、生産性を向上させ、イノベーションを創出
- 拠点をネットワーク化し、圏域・マーケットを一体化・拡大、競争力向上
- 圏域内、拠点相互間の移動時間の短縮と移動空間の拡大を、安く、速く、省エネルギーで実現

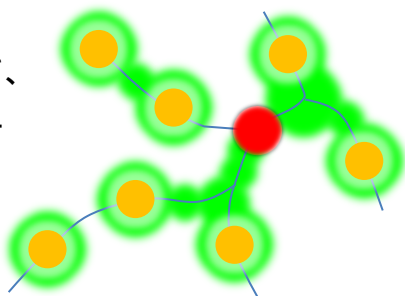


拠点とネットワークの可能性

拠点とネットワークのこれまでの取組

○富山市におけるコンパクトシティ

鉄道やバスなどの公共交通を軸として、生活拠点をつなぐことによって歩いて暮らせるコンパクトな街づくりを目指す。



○大岡山駅(東急大井町線)

鉄道というネットワーク上に直接的に病院を設け、高齢者の利便性や将来の人口減少による鉄道利用者の減少対策にも寄与。



写真: 国土交通省 交通政策審議会 鉄道部会 ネットワーク・サービス小委員会資料 (2008年3月11日)

○道の駅(栃木県茂木町)

全国的な道路ネットワーク上に1014駅設置。このコンパクトな拠点は、新しいものづくり、地場産業、それを作るための新しい絆を構築。

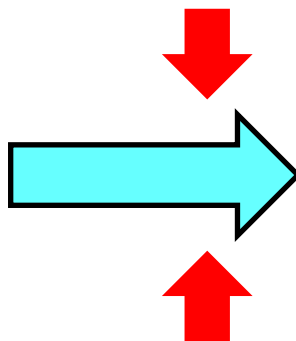


写真: 道の駅もてぎホームページ



拠点とネットワークを結びつけ、一つの施策パッケージで取り組む

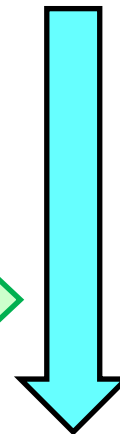
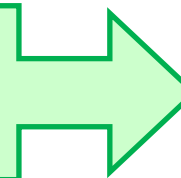
50年に一度の交通革命による移動時間、コストの減少



拠点とネットワークの劇的な進化による新たな集積の可能性
- 連携革命 -
- コネクティビティ イノベーション -

新情報革命により大量のデータを高度に処理して活用可能に

60余州、300諸藩の多様な社会
○多様な歴史・文化・生活
○ものづくり等の技術・技能



グローバル化の中でも埋没しない個性を有する新たな集積

新たな価値を生み出す